

男の子

作詞 浅羽一 / J'Soul

好きだよって言われたくて 好きだよって先に伝えた
ごめんねって返ってきて ごめんねって強がる弱さ
背中を見せて走り去るのは まるで逃げてみたいに感じられて
じゃあねってこっちから言ったのは 震える足を悟られる前に
君から去ってもらいたかったから

必死に繕った格好良さは 雑誌や映画で見つけたフィクションで
ハッピーエンドの結末の中には 惨めの誤魔化し方なんて描かれちゃいなかった
だから僕はそこだけありのまま 彼女が見えなくなった途端に泣いたんだ
こんなに情けない格好悪さじゃ 振られて当然だなんて笑いながら

忘れろって慰められて 忘れたって嘘を吐いた
頑張れって優しくされて とくくって言えずに笑った
しつこく過去を振り返るのは 要は負け犬の証って気がして
女なんて幾らでもいるとか 思ってもないのに並べたのは
せめて同情されたくなかったから

懸命に学んだ男らしさは 想像の中じゃ完璧な形で
青春ドラマの撮影だったら NGの数もほとんど0にしてみせるのに
だけど僕は俳優じゃないから お洒落なアドリブつ言えずに泣いたんだ
もしも道ばたで誰かが見つけても 滑稽と笑ってくれって願いながら

泣いた数だけ強くなれるらしいけど
もしも叶うなら泣かずに耐えられる男になりたいくて

必死に繕った格好良さは 雑誌や映画で見つけたフィクションで
ハッピーエンドの結末の中には 惨めの誤魔化し方なんて描かれちゃいなかった
だから僕はそこだけありのまま 彼女が見えなくなった途端に泣いたんだ
こんなに情けない格好悪さじゃ 振られて当然だなんて笑いながら

懸命に学んだ男らしさは 想像の中じゃ完璧な形で
青春ドラマの撮影だったら NGの数もほとんど0にしてみせるのに
だけど僕は俳優じゃないから お洒落なアドリブつ言えずに泣いたんだ
もしも道ばたで誰かが見つけても 滑稽と笑ってくれって願いながら